



# 第58回

# 東京大学医学教育セミナー

## 「米国の家庭医療専門医研修の現状と未来」

アメリカでは医療の高度の専門化が進んだにもかかわらず、国民全体の健康は他国に比較して向上していない。医療費の高騰、複雑な医療保険制度、5千万を超える無保険者の存在、人口の高齢化、慢性疾患の増加といった変化を受けてアメリカにおける家庭医の役割も大きく変化している。現在、家庭医療研修に関わる立場から、これらのあらたなニーズを受けてどのようにアメリカの家庭医療研修が変化して来ているかを紹介したい。

1. 家庭医に求められているあらたな知識、技能
2. 先進的な家庭医研修の試みを研究したP4 (Preparing Personal Physician for Practice) についての紹介
3. 現行の3年間から延長した、4年制家庭医療研修の試み
4. ACGMEの新しい専門医研修認定制度と、家庭医の新たなコンピテンシーの設定と評価についての紹介(マイルストーンプロジェクト)



講演者 山下 大輔

米国 オレゴン健康科学大学(OHSU)

2013年10月10日(木) 18:00 ~ 19:30

東京大学医学部図書館3階 333会議室

主催・問い合わせ先

東京大学大学院医学系研究科  
医学教育国際研究センター

TEL: 03-5841-3583 E-mail: [ircme-lec@m.u-tokyo.ac.jp](mailto:ircme-lec@m.u-tokyo.ac.jp)

URL: <http://www.ircme.m.u-tokyo.ac.jp>

※準備の都合上、出席をご希望の方はなるべく  
事前にご連絡をお願いいたします。

